



はじまりは、「紅一点じゃ、足りない。」

安中市男女共同参画推進委員会副委員長 松本 万理子

「紅一点じゃ、足りない。」

これは、私が初めて男女共同参画行政に携わったときの男女共同参画週間のキャッチフレーズです。男女共同参画を推進する、特に女性がさまざまな分野で活躍することにより、日本が元気になることが伝わるようなキャッチフレーズとして募集され、選ばれたものです。まさに女性活躍が謳われていた時代で、国からは推進事業のための交付金が交付され、毎月、時には毎週のように講座や講演会を開催し、忙しかったことを覚えています。

それから10年余り、自身の仕事も社会環境も変化してきましたが、的を射た、それでいてシンプルなこのキャッチフレーズはずっと私の心に残ってきました。実際に女性一人の場面を会議などで経験してきたからかもしれません。2020年までにあらゆる分野で指導的地位に女性が占める割合を30%にするという「202030」は、今となっては懐かしい目標です。

さて、紅一点の紅は、女性を表しますが、今はそれも差別につながると感じる人もいるかもしれません。赤は女性、青は男性というような昭和チックな

感性はなくなり、自分色という新色も現れました。

私事ですが、男女共同参画で色の話題が出ると亡き父との会話を思い出します。小学生のころ、「女の子なのにピンクよりもブルーが好きなのだけど…変かな？」と父に話したとき、「好きな色に男も女も関係ないよ。お父さんは赤が好きだよ」と言ってくれた昭和一桁生まれの父。他愛もない会話でしたが、記憶に残っているのは、バイアスの海に沈もうとしている私を引き揚げてくれたからかもしれません。

昭和100年、戦後80年、そして、男女雇用機会均等法から40年、女性活躍推進法から10年の節目に、日本で初めて女性首相が誕生し、高くて厚い「ガラスの天井」を突き破りました。非常にゆっくりではありましたが、男女共同参画は日本なりに進んできたのだと思います。令和7年度の男女共同参画週間のキャッチフレーズは「誰でも、どこでも、自分らしく」。性別に関係なく、誰もが自分らしく生きられる、生きるために頑張れる、そのような社会の実現を願います。

☎困市民課市民生活係(☎内線1027)

- ☎ 応募・申込方法
- 📅 日程
- 🕒 時間
- 📅 期間
- 📍 会場・場所
- 📞 問合せ先
- 📞 対象・資格
- 📠 FAX
- 📧 電子メール
- 🏠 HP
- 📄 他



クローズアップ - Close Up -



1127 安中総合学園高校和太鼓部 関東大会優勝を報告

安中総合学園高校和太鼓部が関東大会で優勝し、岩井市長を表敬訪問しました。同部は、12月14日に大宮ソニックシティで開催された「太鼓祭り2025 第17回日本一決定戦」に関東代表として出場しました。



1211 安中総合学園高校水田班 お米甲子園金賞を受賞

12月6・7日に茨城県で開催された「全国農業高校お米甲子園」で初めて金賞を受賞した安中総合学園高校生物資源系列水田班のメンバーが、岩井市長を表敬訪問しました。